

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 大牟田市立大牟田特別支援学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）
所在地 〒 8 3 6 - 0 8 9 6
福岡県大牟田市天道町 2 4 番地
E-mail sien-s@st.city.omuta.fukuoka.jp
Website <http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/yougo>
児童生徒数 男子 5 9 名 女子 5 0 名 合計 1 0 9 名
児童・生徒の年齢 6 歳～ 6 4 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（交流及び共同学習）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、交流及び共同学習を通して、ユネスコスクールで子どもたちに身に付けさせたい以下の資質や能力を向上させたいと考え活動しています。

○ 人の気持ちや考え方を大切にしたり、自分の気持ちや考えを伝えたりする力

○ 人・もの・こと・社会・自然などと自分のつながりを大切にしようとする態度

今年度は、学校間交流、市内特別支援学級との交流、居住地校交流、見附特別支援学校との交流を行いました。

①学校間交流

○ 天の原小との交流では、内容やメンバー構成等を工夫したところ、児童の触れ合う様子から自分の気持ちを伝えようとする意欲を高めることができました。



○ 天の原小、米生中との三校合同七夕交流では、異学年の交流を行うことができました。事前交流(七夕飾り作り交流)を設定したことでスムーズに進めることができました。願いごとを書いた短冊や飾りを楽しそうに笹竹に飾りました。



○ 米生中学校との交流では、交流を同じメンバーに固定することで、継続性のある交流を行うことができ、自然に触れ合うことができました。回を重ねるごとにつながりを大切にしようとする態度や笑顔で楽しんで活動している姿が多く見られるようになりました。



○ 有明工業高等専門学校との音楽交流、作業交流では、日頃接する機会が少ない高校生に対し、意欲的に自分の気持ちや考えを伝えることができました。また、交流をきっかけに、有明高等工業専門学校の定期演奏会に足を運ぶ生徒も数名見受けられました。



②市内特別支援学級との交流

- 合同運動会では、市内の特別支援学級と本校の児童生徒が集まり、上学年の子どもがリーダーシップを発揮し、ブロック内をまとめるなど、生き生きと活動しました。



③居住地校交流

- 同じ地域、同学年でありながら、触れ合う機会の少ない児童が互いを知る機会となり、つながりを大切にしようとする態度を育てることができました。



④見附特別支援学校との交流

- それぞれの学校のお友達のことを思いながら作った作品を交換しています。これは見附特別支援学校の自己紹介カードの作品です。



本校の児童生徒が自己紹介カードなどを作成し、作品交流をしました。見附特別支援学校の友達のことを思い、一生懸命作成しました。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()